



八クバサンショウウオを調査中の村道

**答** 80年が経過し老朽化のため架け替え予定であり、総額は1億2000万円の見込みです。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定

●平成24年度 白馬村下水道事業特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6億3661万1千円とするもの

すが、地元要望であり、できる範囲で進めます。

**問** 八クバサンショウウオの調査は。

**答** 調査は26年度まで行います。ハクバサンショウウオは村の文化財でもあり配慮した工事内容になっていきます。

**問** 楠川橋の工事は。

歳入歳出それぞれ6億3661万1千円とするもの  
 歳入では、下水道使用料157万2千円の減額、下水道資本費平準化債1000万円の減額  
 歳出では、受益者負担金還付金117万2千円増額(2件分)、前納報償金12万4千円の増額、(受益者負担金納入7件の不足分)。

**問** 受益者負担金の還付金の内容は。

**答** 2件とも賦課をすべき年に賦課していなかったもので、B&Gプールの敷地、もう1件は個人で、調査で時効が判明したものと還付加算金です。

**問** 9月の決算議会において数字が合わなく付帯決議をした。24年度中に修正をもとめたが進捗状況は。

**答** 精査しています。もうしばらくで確定数字が出ると思います。

**問** 平成24年度白馬村下水道事業会計補正予算(第2号)

収益的収入及び支出  
 収入 営業収益591万の減額  
 支出 営業費用130万円の減額、営業外費用60万円の増額  
 資本的収入及び支出  
 収入 負担金150万円の減額  
 支出 建設改良費1924万円の減額  
 ▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

## ごみ処理特別委員会

新施設の建設候補地について、白馬村では八方地区が立候補しましたが、正副連合長による選定会議における審議の結果、平成24年12月大町市平源汲地区に決定しました。

平成25年1月から2月にかけて、源汲地区や近隣自治会等への説明会を行うとともに、建設予定地決定の経過と今後の事業の推進について、3市村の住民を対象とした経過説明会を、白馬と大町の2か所で開催しました。

施設の建設に向けて生活環境影響調査や、地質調査、測量などの事業を進めていく予定で、引き続き地元自治会と密接に連携し、協議をしながら事業を進めることとしています。

生活環境影響調査は、約1年間で、周辺地域の気象状況、騒音や振動など、生活環境に及

ぼす影響について調査・予測・評価を行い、影響の程度を明らかにするとともに、必要な保全対策を施設整備計画に反映させるための調査です。

白馬村としても、一日も早い新施設の稼働に向けて、広域連合の一員として、事業に協力していくとともに、今後もリサイクルや分別の徹底を図り、ごみの減量化の推進に努めていかなければなりません。

そのために白馬村議会として、今後も全力で事業の推進に努力を重ねて参ります。



ごみ処理建設予定地 大町市 平源汲